

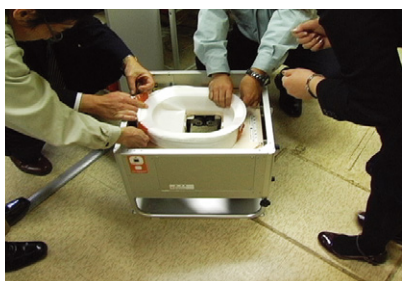
要配慮者に 負担をかけずに使用が可能

※要配慮者とは災害弱者・要援護者のことです。

避難支援プランの確立

国立市では、災害時の要配慮者対策として「まず避難」という事を考え、避難支援プランを今後確立していく予定です。「一人で避難できない方でも、安全に避難していただけるよう支援者をつけるプランです。要配慮者の方は体育館等での生活が難しいので高齢者福祉施設を避難所に指定して、その方に合った避難所生活をおくっていただく事を計画に盛り込んでいます」と防災課 主任 黒澤様は話します。

ラップオンは水を使わず、コンパクトで持ち運びが可能のため、施設の中などで要配慮の方が楽に使用できる場所に設置する事ができます。



マンホールトイレにはない清潔感と処理のカンタンさ

「災害用としてマンホールトイレは備蓄していますが、阪神淡路大震災の時に汚物が便器に山盛りになっていたと言う事を聞きました。それではトイレから足が遠のくし、市の職員も掃除をしますので、やはり清潔に使える事を第一に考えていきたいです」(黒澤様)。ラップオンは特殊フィルムで一回毎に完全密封の袋にするので、ニオイも防げます。「簡単かつ清潔に処理が出来るトイレであれば高齢者の方も嫌がらずに使って頂けると思います」(同氏)。

今後の防災時の要配慮者対策として、防災課 課長 加藤様は次のように話します。「一番は支援者の確保です。自主防災組織・消防団・自治会などをお願いし、なるべく多くの受皿をつくり、一人でも多くの要配慮者をカバーできるようにします。そのためにも職員の訓練に力を入れています。」地域とのコミュニケーションを大切にしている姿勢を伺う事ができました。

Interview



国立市
総務部 防災課
課長
加藤 登志雄 様



国立市
総務部 防災課
防災・消防担当 主任
黒澤 重徳 様



国立市役所
総務部 防災課

市役所住所 〒186-8501 東京都国立市富士見台2-47-1

人 口 74,225人(平成21年2月1日現在)

市 章 国立市のマークは、梅の花です。五弁の花びらをあしらったこの市章は、いろいろな意味をもっています。二重の外側は、「国」のかまえを表し、内側は、「立」と文教の「文」を示し、図案全体で世界五大州の意味も含んでいます。